



こちらから、さまざまなリノベーションの事例をご覧いただけます。

### bed room

お互いのリズムを尊重したい寝室は、棚を半間仕切りにして独立性を確保。将来を見据えると、やはり動作の負担が少ない洋室&ベッドの就寝スタイルがおすすめです。



床上げた和室との境目に設けた式台は、スムーズに移動するためのひと工夫です。

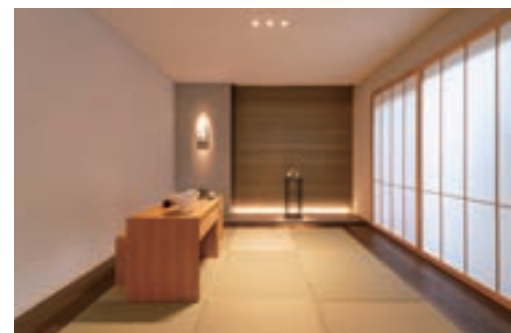


### Japanese-style room

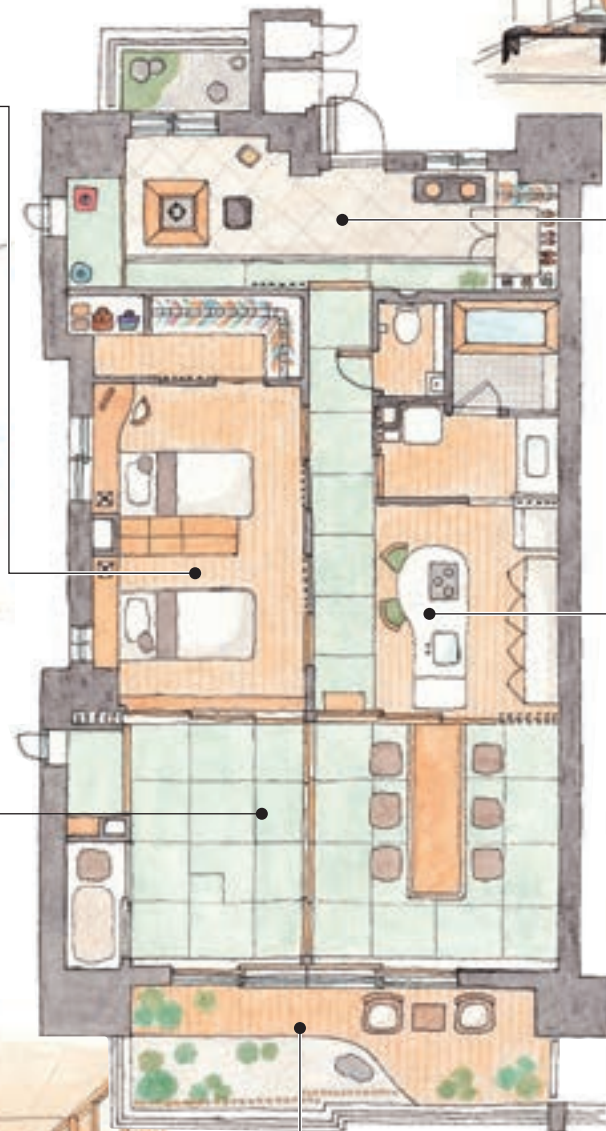
帰省した子ども家族で賑わうお盆やお正月。掘りこたつ部分を畳をはめ込み、間仕切りの障子をフルオープンにして、広々とした続き間に。



華道や書道などの趣味がある人には特にうれしい和室。炉を切れば茶道を楽しめますが、置き畳を活かしたカジュアルなテーブル茶道という手も。



### AFTER



### entrance hall

骨董コレクションを飾ったギャラリー風の玄関土間はマンションとは思えないワイド感が魅力。囲炉裏テーブルや枯山水風バルコニーなど趣向を凝らしたしつらえて和のおもてなしを。



玄関から続く廊下も畳に。大胆な発想で、住まい全体をこだわりの和に染めます。



### dining kitchen

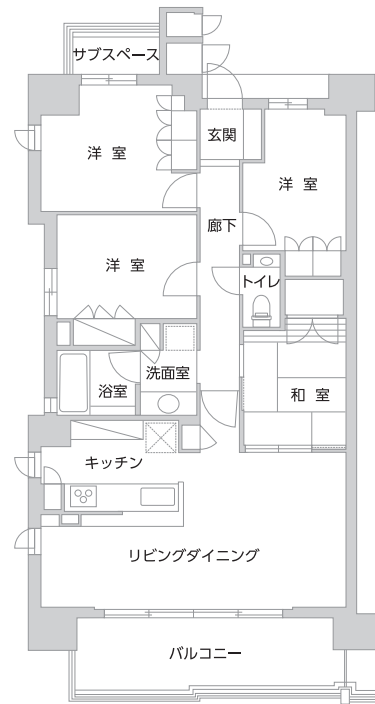
ふたり暮らしのダイニング・キッチンコンパクトに。伸張式のカウンターを伸ばせば、和室の掘りこたつと連続性のある使い方が可能。折りたたみためばアイランドスタイルになり、動きやすく作業性が高まります。



キッチンにつながる和室は、気軽に茶の間使いができるよう、床を高くして掘りこたつに。腰かけたまま移動でき、立ち座りもスムーズです。



### BEFORE



住居専有面積約95㎡の4LDK。落ち着いた和空間をメインとしつつ、寝室やキッチンに関しては使い勝手も重視したい。子ども家族の帰省や趣味などに柔軟に対応できるプランを希望。

## 懐かしさと心地よさを両立する和モダンの住まい。



### 和室の最大の魅力は柔軟性。

茶道や華道など和の伝統文化を楽しんだり、お客様を招いて食事をしたり、孫たちが寝泊まりしたり。左ページの提案プランのように和室をふた部屋並べれば、大きな広間にもなり、間仕切り次第で暮らしのシーンに合わせた柔軟な使い方が可能です。一方で、和室は立ったり座ったりが大変というイメージがありますが、床を上げて掘りこたつにしたり、移動をサポートする式台を設けるなど、ちょっとした工夫で、年齢を重ねても暮らしやすい豊かな和の住まいが完成します。

※掲載プランはひとつのアイデアであり、リノベーション可能な範囲・内容は住戸によって異なります。

### 今の暮らしにふさわしい「和」を目指す。

素朴で温かみのある土間。畳のやさしい肌触り。子どもの頃に住んでいた家を出し、「古民家で田舎暮らしもいいね」と夢見るもの、現実味は薄く…。そんなご夫婦におすすみたいのが、洋室中心のマンションではちょっと珍しい「和」をテーマにしたリノベーション。ポイントには、単に懐かしさを再現するのではなく、年齢やライフスタイルに沿った使い勝手と心地よさを追求すること。目指すのは「和モダン」の住まいです。



### 引き戸でスペースの有効活用を!

襖や障子など日本家屋では当たり前のように使われてきた引き戸。開け閉めするだけで空間をつなげたり、プライベート空間を確保できたりと、じつは非常に優秀なアイテムです。素材やデザインにこだわればインテリアのアクセントになるなど、多彩な魅力があります。

